

# 2014年3月期第2四半期 決算説明資料



株式会社 ヴィンクス

2013年11月27日

**JASDAQ**

証券コード:3784

<b>1. 2014年3月期 第2四半期決算概要</b>	
◇決算のポイント	… P4
◇業績の概要	… P5
◇四半期別業績の推移	… P6
◇分野別受注高・受注残高の推移	… P7
◇分野別業績	… P8－11
◇財政状況(前期末比較)	… P12
◇キャッシュ・フローの状況	… P13
<b>2. 経営ビジョン・経営目標・基本戦略および直近のトピック</b>	
◇経営ビジョン・経営目標	… P15
◇基本戦略	… P16
◇上期の主な取組み トピック	… P17－19
<b>3. 2014年3月期の業績予想並び配当予想について</b>	
◇2014年3月期業績予想(連結)	… P21
◇中期計画	… P22
◇配当見通し	… P23

# 1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

当社は、2013年4月1日に株式会社ヴィクサスと経営統合を行い株式会社ヴィンクスとして発足し、上期は下記の結果となりました。

## <上期総括>

連結売上高は、13,563百万円(開示比96.7%) となりました。

- ・ 大手顧客のグループ再編により、一部案件の進捗遅れが発生しました。
- ・ 大手総合小売業グループの案件受注は順調に推移しました。
- ・ マレーシアを中心としたアセアン地域に対して、順調に事業拡大を進めました。

営業利益は、775百万円(開示比106.2%)

経常利益は、719百万円(開示比101.3%)

四半期純利益は、410百万円(開示比114.0%)

となりました。

- ・ プロジェクトにおける品質管理を強化し、利益改善に努めました。
- ・ 組織や事業所の再編及び人材の適材適所への配置を行うことにより、事業効率の向上に努めました。

# 業績の概要



単位:百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		開示対比(5月9日発表)				前年対比			
	実績値	売上比	開示値	開示比	開示差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	13,563	100.0%	14,030	96.7%	▲466	100.0%	5,067	267.6%	8,495	100.0%
売上総利益	2,728	20.1%	2,680	101.8%	48	19.1%	920	296.4%	1,808	18.2%
販売管理費	1,953	14.4%	1,950	100.2%	3	13.9%	827	236.1%	1,125	16.3%
営業利益	775	5.7%	730	106.2%	45	5.2%	93	832.1%	682	1.8%
経常利益	719	5.3%	710	101.3%	9	5.1%	97	737.1%	621	1.9%
四半期純利益	410	3.0%	360	114.0%	50	2.6%	59	695.3%	351	1.2%

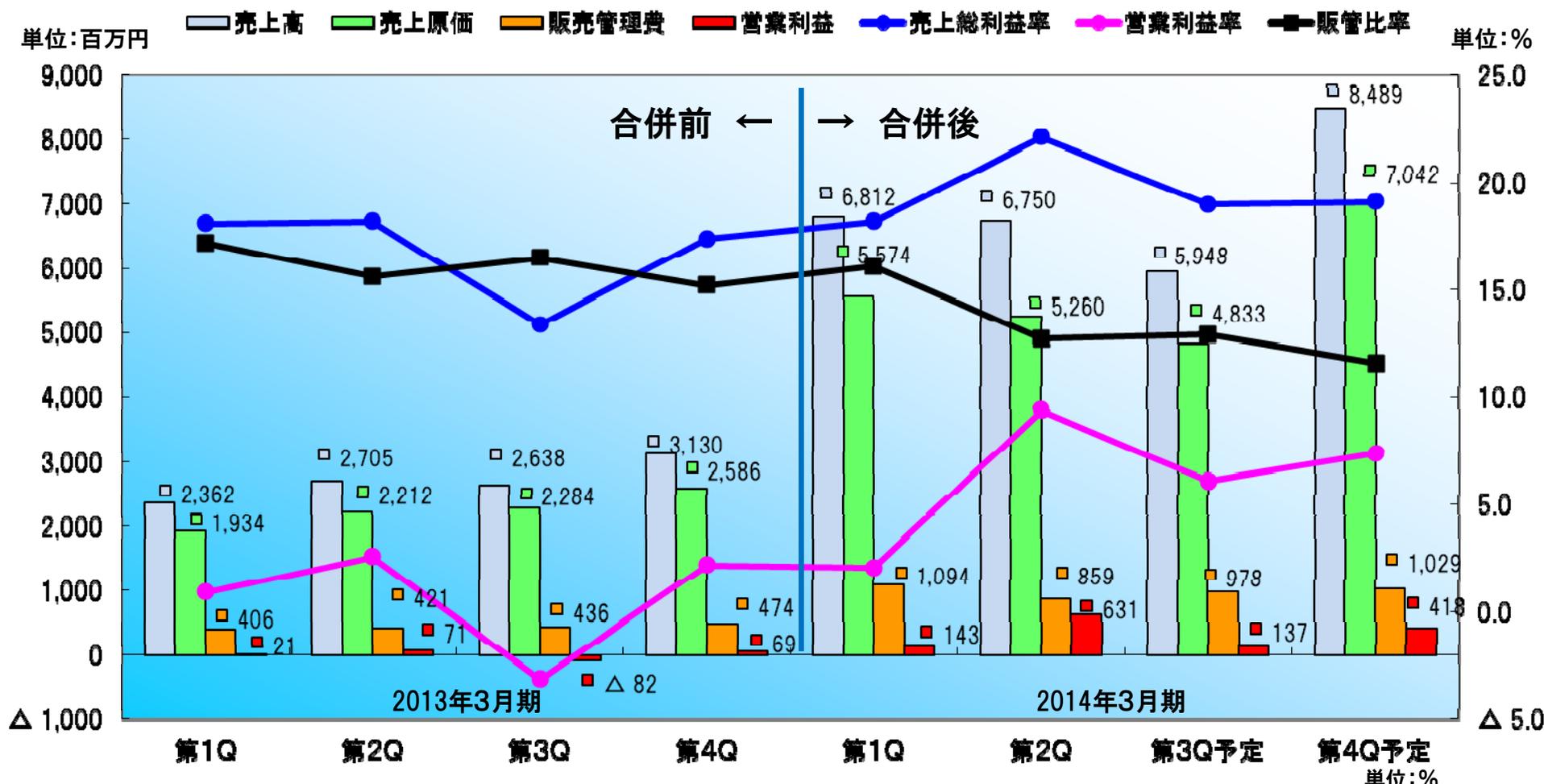
## 【第1四半期 実績】

売上高	6,812	100.0%	6,250	109.0%	562	100.0%	2,362	288.4%	4,450	100.0%
売上総利益	1,238	18.2%	1,160	106.7%	78	18.6%	428	289.2%	810	18.1%
販売管理費	1,094	16.1%	1,000	109.4%	94	16.0%	406	269.2%	687	17.2%
営業利益	143	2.1%	160	89.9%	▲16	2.6%	21	664.5%	122	0.9%
経常利益	125	1.8%	150	83.4%	▲24	2.4%	23	529.2%	101	1.0%
四半期純利益	77	1.1%	70	110.7%	7	1.1%	3	2,220.9%	74	0.1%

## 【第2四半期 実績】

売上高	6,750	100.0%	7,780	86.8%	▲1,029	100.0%	2,705	249.5%	4,045	100.0%
売上総利益	1,490	22.1%	1,520	98.1%	▲29	19.5%	492	302.6%	998	18.2%
販売管理費	859	12.7%	950	90.4%	▲90	12.2%	421	204.0%	438	15.6%
営業利益	631	9.4%	570	110.8%	61	7.3%	71	882.8%	560	2.6%
経常利益	594	8.8%	560	106.1%	34	7.2%	73	803.6%	520	2.7%
四半期純利益	332	4.9%	290	114.7%	42	3.7%	55	599.3%	277	2.1%

# 四半期別業績の推移 <連結>



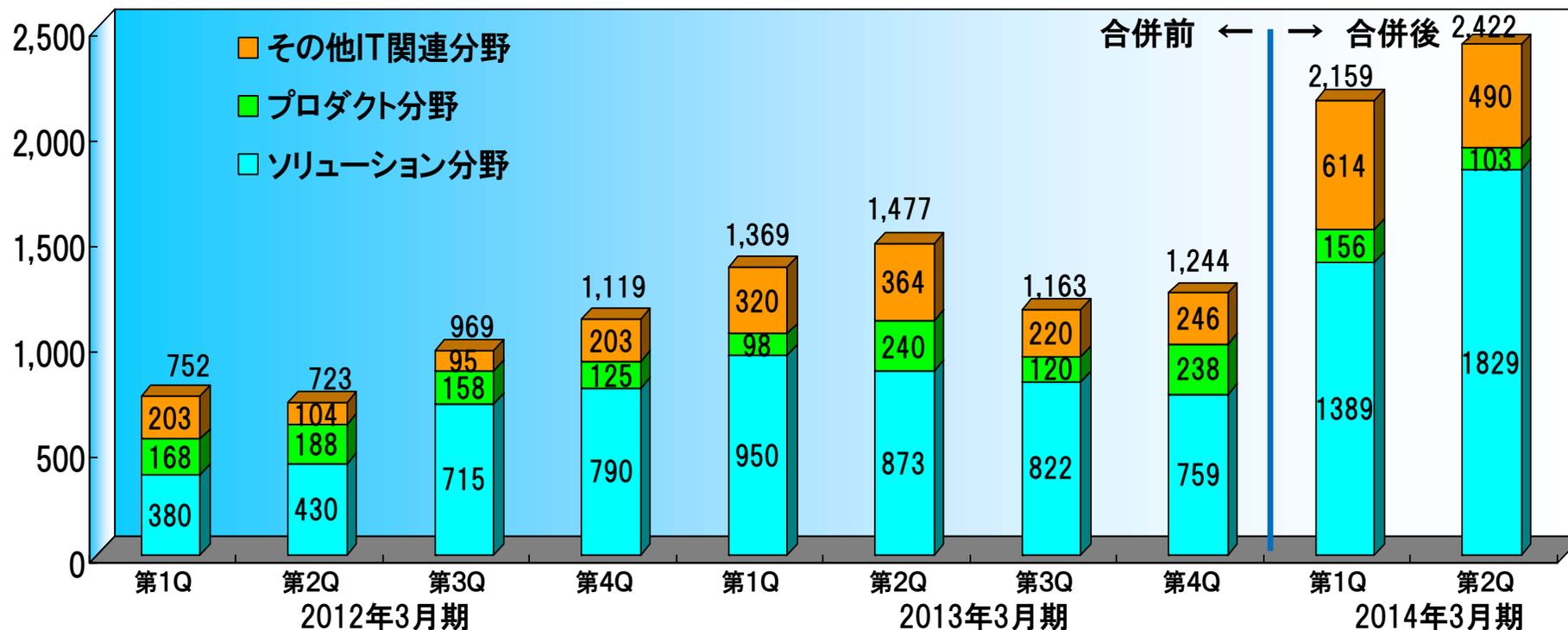
	2013年3月期				2014年3月期			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q予定	第4Q予定
売上総利益率	18.1	18.2	13.4	17.4	18.2	22.1	18.7	17.0
販管比率	17.2	15.6	16.5	15.2	16.1	12.7	16.4	12.1
営業利益率	0.9	2.6	△3.1	2.2	2.1	9.3	2.3	4.9

# 分野別受注高・受注残高の推移



## <受注残高の推移>

(単位:百万円)



## <受注高の推移>

(単位:百万円)

	2012年3月期				2013年3月期				2014年3月期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q
アウトソーシング分野	1,420	1,109	1,189	1,487	1,035	1,064	1,137	1,529	3,573	3,583
ソリューション分野	605	765	970	964	979	919	892	937	2,122	2,546
プロダクト分野	120	222	275	265	189	394	120	405	154	214
その他IT関連分野	453	233	249	436	408	434	173	338	1,112	666
合計	2,598	2,329	2,683	3,152	2,611	2,811	2,322	3,209	6,961	7,009

# 【参考】 分野別業績 – アウトソーシング分野の状況



## アウトソーシング分野

(システム運用・管理サービス、保守、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等)

・売上高および営業利益につきましては、大手特定顧客の運用が堅調に伸びた結果、計画値・前年値共に上回る結果となりました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	7,158	52.8%	6,279	114.0%	879	44.7%	2,098	341.2%	5,060	41.4%
売上総利益	1,277	17.8%	1,150	111.0%	127	18.3%	243	525.5%	1,034	11.6%
営業利益	362	5.1%	313	115.7%	49	5.0%	24	1508.3%	338	1.1%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

# 【参考】 分野別業績 – ソリューション分野の状況



## ソリューション分野

(流通サービス業基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発)

- ・売上高につきましては、大手顧客のグループ再編により一部案件が延期になったことで、計画値を下回りました。
- ・営業利益につきましては、プロジェクトの品質管理を強化を行い、利益率が改善しました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	3,992	29.4%	4,776	83.6%	▲ 784	34.0%	1,816	219.8%	2,176	35.8%
売上総利益	932	23.3%	1,029	90.6%	▲ 97	21.5%	281	331.7%	651	15.5%
営業利益	265	6.6%	284	93.3%	▲ 19	5.9%	28	946.4%	237	1.5%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

# 【参考】 分野別業績 – プロダクト分野の状況



## プロダクト分野

(流通サービス業向けパッケージ開発、販売)

・売上高および営業利益につきましては、ライセンス販売が堅調に推移し、計画値を上回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	526	3.9%	523	100.6%	3	3.7%	469	112.2%	57	9.3%
売上総利益	234	44.5%	213	109.9%	21	40.7%	234	100.0%	0	49.9%
営業利益	66	12.5%	60	110.0%	6	11.5%	23	287.0%	43	4.9%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

# 【参考】 分野別業績 — その他IT関連分野の状況



## その他IT関連分野

(ハードウェア販売、ハードウェア及びミドルウェア保守サービス等)

・売上高につきましては、当初予定していた大手顧客のハードウェア老朽化対応が先送りになったことで、計画値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

第2四半期累計	連結累計		計画対比				前年対比			
	実績値	※比率	計画値	計画比	計画差	※比率	前年値	前年比	前年差	※比率
売上高	1,885	13.9%	2,453	76.8%	▲ 568	17.5%	682	276.4%	1,203	13.5%
売上総利益	285	15.1%	286	99.7%	▲ 1	11.7%	161	177.0%	124	23.6%
営業利益	81	4.3%	74	109.5%	7	3.0%	17	476.5%	64	2.5%

※ 比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

# 財政状況(前期末比較)



## 【貸借対照表】

単位:百万円、% 百万円未満切り捨て

区分	2014年3月期 第2四半期末		2013年 3月期末	差 額
		構成比		
流動資産	9,362	62.9%	4,910	4,452
固定資産	5,514	37.1%	1,997	3,517
＜有形固定資産＞	2,156	14.5%	653	1,503
＜無形固定資産＞	1,731	11.6%	671	1,060
＜投資その他の資産＞	1,626	10.9%	672	953
資産合計	14,877	100.0%	6,908	7,969
流動負債	4,587	30.8%	2,456	2,131
固定負債	4,952	33.3%	671	4,281
負債合計	9,540	64.1%	3,127	6,413
純資産	5,337	35.9%	3,781	1,555
負債・純資産 合計	14,877	100.0%	6,908	7,969

### 【貸借対照表のポイント】

負債・純資産合計は、合併により  
7,969百万円増加しました。

尚、負債合計は、6,413百万円増加  
しましたが、借入金の返済により、  
期首より、477百万円減少しています。

# キャッシュ・フローの状況



単位:百万円

税金等調整前四半期純利益	720
減価償却費	667
のれん償却額	18
持分法による投資損益	4
売上債権の増減額(△は増加)	672
たな卸資産の増減額(△は増加)	119
仕入債務の増減額(△は減少)	△907
未払金の増減額(△は減少)	△168
その他	△129
小計	998
法人税等の支払額等	△292
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>705</b>
有形固定資産の取得による支出	△319
無形固定資産の取得による支出	△189
その他	252
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△256</b>
社債、借入金の返済による支出	△477
配当金の支払額	△31
ストックオプションの行使による収入	20
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△489</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23
現金及び現金同等物の期首残高	1,565
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,876
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,418</b>

## 【キャッシュ・フロー計算書のポイント】

- ・営業キャッシュ・フローは、  
四半期純利益等により、  
705百万円と なりました。
  - ・投資活動によるキャッシュ・フローは、  
有形固定資産の取得等による支出により、  
△256百万円となりました。
  - ・財務活動によるキャッシュ・フローは、  
長期借入金の返済等により、  
△489百万円となりました。
- 上記の結果、  
現金及び現金同等物の四半期末残高は、  
3,418百万円となりました。

## 2. 経営ビジョン・経営目標・基本戦略 および直近のトピック

## アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーへと飛躍するための“新生ヴィンクス”の経営戦略

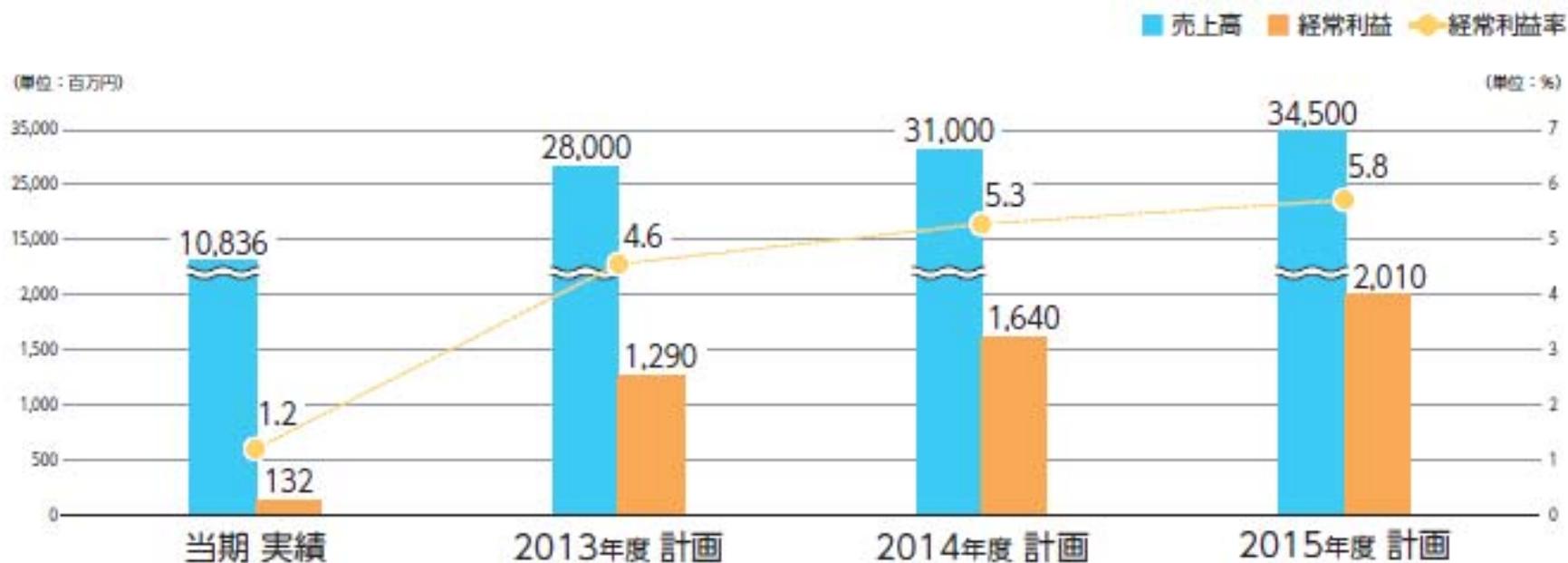
### 経営ビジョン

アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す

### 経営目標

- 売上高成長率10%以上
- 各利益率の向上

### → 中期経営目標値(連結)



## 事業成長と安定的な収益基盤確立の両立

売上高成長率 10%以上

利益率の向上

### 戦略 1 特定顧客化戦略

1. 特定顧客事業の拡大
2. 新規特定顧客の開拓
3. ストックビジネスの拡大

### 戦略 2 グローバル戦略

1. ベトナム現地法人の設立
2. IT運用サービスの拡大
3. 中国・アセアン地域における現地法人向けサービスの拡大

### 戦略 3 商品・サービスの差別化戦略

1. 製品・サービスのラインアップの拡大
2. 流通システムのクラウド化
3. グローバル展開に対応した商品化及びチャンネル販売の確立

### 戦略 4 プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化

### 戦略 5 経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現

## 1. 特定顧客化戦略

・大手総合小売業グループとの更なる関係強化を図るために、国内・海外双方におきまして、付加価値の高いサービスを継続して提供してまいりました。顧客ニーズに合わせた最適なサービスを提案することで、大手総合小売業グループやその他既存特定顧客に対して更なる深耕を図るとともに、新規顧客獲得にも注力してまいりました。とりわけ、スーパーマーケット及びドラッグ業界の商談は引き続き活発で、積極的な提案活動を実施してまいりました。

## 2. グローバル戦略

・アセアン地域への事業規模拡大に伴い、当社連結子会社であるマレーシア現地法人「ヴィンクスマレーシア」に対して増資を行い、また、今後の成長性を踏まえて、ベトナムに現地法人「ヴィンクスベトナム」を設立する準備を進めております。  
・ビジネス面では、大手総合小売業グループのマレーシア現地法人向け店舗展開案件に関して、顧客ニーズを的確に捉え迅速に対応したことでお客様から高い評価を得ることができ、今後のアセアン地域におけるビジネス拡大の足掛かりを築くことができました。

## 3. 商品・サービスの差別化戦略

・クラウドサービスによる当社プロダクト製品の機能及びラインアップの拡充に取組み、顧客ニーズに合わせた最適な提案を積極的に進めてまいりました。また、グローバル化に連動した当社プロダクト製品のローカライゼーション(言語対応、税制対応、通貨対応など)に継続して取組み、海外における当社プロダクト製品の認知度を高めるために、海外顧客に対して製品デモンストレーションを行うなど、当社プロダクト製品の紹介を積極的に実施してまいりました。

## 4. プロジェクトマネジメント及び品質管理の強化

・各プロジェクトにおける運用管理及び品質管理を強化するためにPMO組織を設置し、品質を保持しながら計画的且つ効率的にプロジェクトを遂行することに努めてまいりました。

## 5. 経営統合に伴う効率的な事業運営体制の実現

・経営統合によるメリットを早期に実現するために、各システム及び各業務プロセスの統合を積極的に推進し、また、組織や事業所の再編及び人材の適材適所への配置を行うことにより、事業効率の向上に努めてまいりました。

# 【トピック】中国・アセアン地域への事業拡大



## マレーシア事務所移転

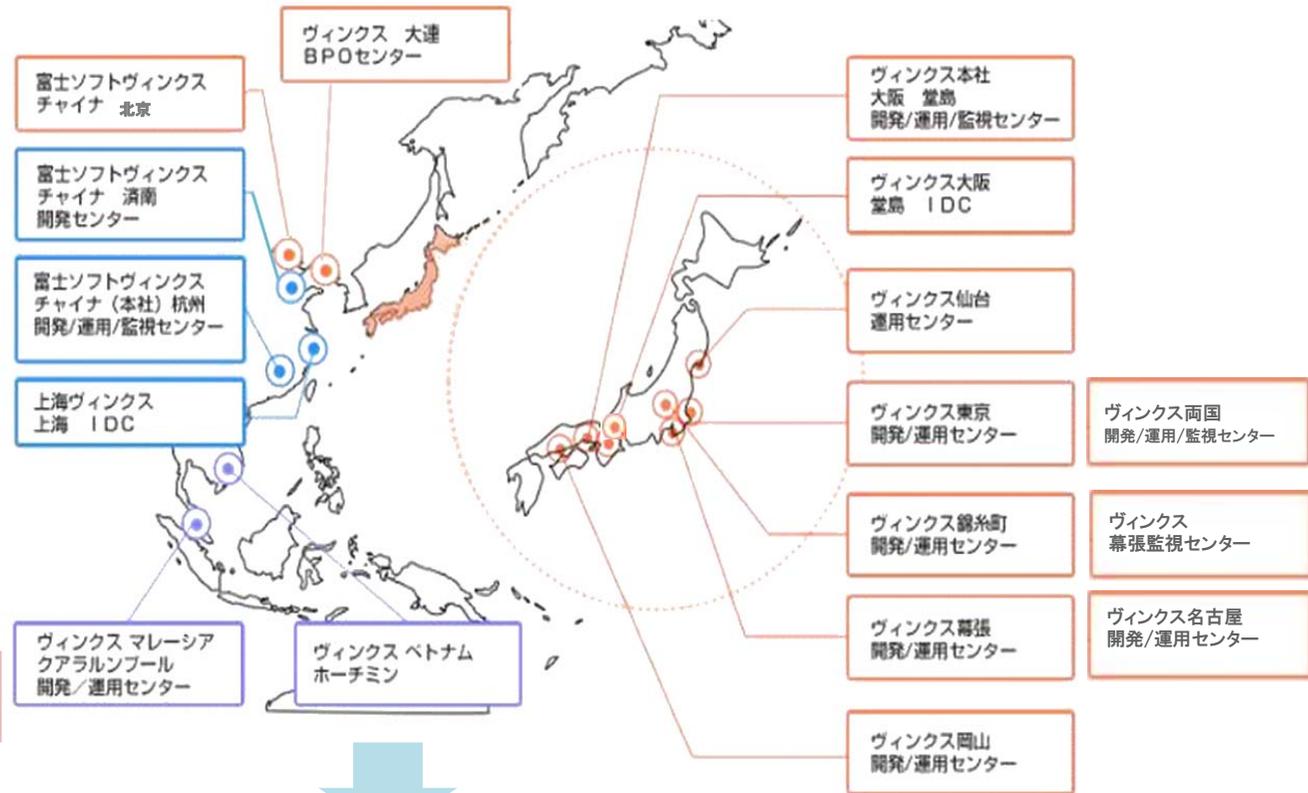


2013年7月  
アセアンビジネスの拡大  
に向け、マレーシア現地  
法人「ヴィンクスマレーシ  
ア」の事務所を移転しま  
した。

## イオンBIG様システム移行を 全面的にサポート



2013年10月  
イオン様がカルフル社より引き  
継いだ28店舗(イオンBIG様)の  
システム移行を全面サポートし、  
無事その移行を完了させました。



## ベトナム現地法人「ヴィンクスベトナム」設立準備中



ベトナム事務所(準備中)

アセアン地域における大手総合  
小売業グループ向けのサポート  
拠点及び開発拠点として、産業  
の中心地、ホーチミンに事務所  
開設を準備中です。



2014年1月にオープン予定の  
ベトナム最大級のショッピング  
センターのシステムを全面的に  
サポートしています。

# 【トピック】流通システムのクラウド「CoMobiS」

## お客様のITオペレーションを強かに支援する流通クラウド「CoMobiS」

当社は、高度化・複雑化するお客様のニーズに迅速且つ的確に対応するために、スマートデバイス(スマートフォンやタブレット端末等)を業務に活用した、新しい流通・小売業向けシステム「CoMobiS®(こもびす)」のサービス化を推進しております。

CoMobiS®は、スマートデバイスの「廉価+携帯+機動性」のメリットを活かし、クラウド環境でサービスを提供することにより、安価で自由なシステムの提供が可能となります。

まず今期は、タブレット端末を活用した店舗(POS)システムの提供から開始し、来期以降は、顧客管理(CRM)システム「Hybrid Satisfa®」、商品管理(MD)システム「MD-Ware®」との連携を実現し、適用範囲を拡大していく方針です。

従来の流通・小売業のシステムは、CoMobiS®の登場により、

- ①システム導入や運用コストの低減の実現
- ②導入や増設等にかかる期間短縮の実現
- ③現場(お店)の機動力の向上+情報の共有化の実現

…等々、お客様のITオペレーションの改善を図ることができます。

現在新たな協業先との事業連携を順調に進めており、当社グループの新たな主力サービスの1つと位置付けて積極的な事業展開を図ってまいります。



### Tablet POS タブレットPOS

2013年10月、ヤフー様本社の社員専用のカフェ「ヤフーカフェ」に、タブレットPOSが採用されました。



### 3. 2014年3月期の業績予想並びに配当予想について

# 2014年3月期 業績予想(連結・個別)



単位:百万円、%、百万円未満切捨て

連結	通期見通し		前年対比			
	計画値	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	28,000	-	10,836	258.4%	17,164	-
売上総利益	5,290	18.9%	1,818	291.0%	3,472	16.8%
販売管理費	3,960	14.1%	1,738	227.8%	2,222	16.0%
営業利益	1,330	4.8%	80	1662.5%	1,250	0.7%
経常利益	1,290	4.6%	132	977.3%	1,158	1.2%
当期純利益	620	2.2%	59	1050.8%	561	0.5%

単位:百万円、%、百万円未満切捨て

個別	通期見通し		前年対比			
	計画値	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	26,100	—	9,274	281.4%	16,826	-
売上総利益	4,880	18.7%	1,502	324.9%	3,378	16.2%
販売管理費	3,630	13.9%	1,404	258.5%	2,226	15.1%
営業利益	1,250	4.8%	98	1275.5%	1,152	1.1%
経常利益	1,190	4.6%	98	1214.3%	1,092	1.1%
当期純利益	550	2.1%	24	2291.7%	526	0.3%

# 中期計画



単位:百万円, %、百万円未満切捨て

連 結	売上高		営業利益			経常利益			当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2011年度(実績)	9,156	98.7%	△89	—	△1.0%	△40	—	△0.4%	△36	—	△0.4%
2012年度(実績)	10,836	118.3%	80	—	0.7%	132	—	1.2%	59	—	0.5%
2013年度(計画)	28,000	—	1,330	—	4.8%	1,290	—	4.6%	620	—	2.2%
2014年度(計画)	31,000	110.7%	1,670	125.6%	5.4%	1,640	127.1%	5.3%	880	141.9%	2.8%
2015年度(計画)	34,500	111.3%	2,050	122.8%	5.9%	2,010	122.6%	5.8%	1,180	134.1%	3.4%

単位:百万円, %、百万円未満切捨て

個 別	売上高		営業利益			経常利益			当期純利益		
		前年比		前年比	利益率		前年比	利益率		前年比	利益率
2011年度(実績)	8,300	97.5%	△119	—	△1.4%	△82	—	△1.0%	△75	—	△0.9%
2012年度(実績)	9,274	111.7%	98	—	1.1%	98	—	1.1%	24	—	0.3%
2013年度(計画)	26,100	—	1,250	—	4.8%	1,190	—	4.6%	550	—	2.1%
2014年度(計画)	28,800	110.3%	1,560	124.8%	5.4%	1,490	127.4%	5.2%	800	145.5%	2.8%
2015年度(計画)	31,800	110.4%	1,890	121.2%	5.9%	1,810	121.5%	5.7%	1,090	136.3%	3.4%

(注)当社は、2013年4月1日付で株式会社ヴィクサスと合併いたしました。そのため、2013年度(計画)における前年比に  
関しましては記載を省略しております。

## ・ 配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため、新規事業及び新製品の開発に対し有効に投資してまいります。

## ・ 配当見通し

(単位:円, 1株あたり)

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向(連結)
2012/3期(実績)	—	1,000	1,000	※1 —
2013/3期(実績)	1,000	1,000	2,000	105.8%
2014/3期(見込)	2,000	※2 10	—	21.1%

(注)平成25年10月1日付けで、当社普通株式を1株につき200株の割合をもって分割しております。

※1:2012/3期の配当性向につきましては、当期利益がマイナスため、記載を省略しております。

※2:2014/3期の期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

株式分割を考慮しない場合の2014/3期の期末配当金は2,000円となり、中間配当金の2,000円と合わせて年間の1株当たりの配当金は4,000円となります。

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス  
企画本部 経営企画部  
e-mail : [ir@vinx.co.jp](mailto:ir@vinx.co.jp)